

【2022年度事業概略】

- ① 「創造性豊かな世界市民の育成」を指向し、各種施策を検討、実施した。
スーパーグローバルハイスクールなどを通して得た経験を活かしグローバルリーダーを育成。
- ② 学事面では小中高（12年間一貫）を教育の柱とし、生徒・児童の発達段階に応じた、きめ細やかな教育（育み）を根幹に、創価大学、アメリカ創価大学との連携も強化し、創価教育の更なる充実に取り組む。また文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に対応すべく、全生徒・児童へ一人一台の情報端末を配備。加えてネットワーク環境の充実に努めた。
- ③ 全額給付型の奨学金制度を継続し、経済面でのサポートを実施。
（1）家計急変世帯に対する奨学金制度を継続。
（2）寮生・下宿生全員に昼食支援を実施等、安心できる学園生活を提供。
- ④ 安全安心対策の視点から施設設備の点検・補改修を行い、生徒・児童・園児が安心して学園生活を送れるよう整備を行った。
- ⑤ 学園全体の中長期教育ビジョン策定を推進。
「創造性豊かな世界市民の育成」実現のため、更なる教育力の向上と世界市民の育成を目指し、中長期的な経営ビジョン・教育戦略の立案・策定を教育コンサルを活用し、推進。
- ⑥ 創価高校・女子寮（友舞寮）が完成。
東京キャンパスにおける「校舎・グラウンド総合整備基本計画」の策定を目指し、コンストラクションマネジメント（CM）業務を専門業者に委託し検討を推進。
創立60周年へ、関西キャンパスにおいては校舎等の補改修工事を計画的に実施。



以下、主な事業について報告する。

1. 諸施設の整備・改修工事等について

- | | | |
|---|----|--------------|
| ① 創価学園 中長期教育ビジョン策定 | 総額 | 9,900,000円 |
| ・ 2030年「創価教育100周年」を目指し、創価学園ミッション「創造性豊かな世界市民の育成」実現のため、さらなる教育力の向上を目指した中長期的な視点で、教育ビジョン・経営戦略を立案。 | | |
| ② 創価高校 女子寮建設工事 | 総額 | 518,970,871円 |
| ・ 新築・外構工事、ネットワークシステム設備工事、什器備品工事等を実施。2023年3月に完成し、2023年度より女子寮がスタート。 | | |
| ③ 創価高校 図書館映像配信システム更新工事 | 総額 | 5,957,270円 |
| ・ 2010年度導入より、12年経過し経年劣化している。また、アナログ映像配信機器をデジタル化することで、文字の見やすさや映像の鮮明度を上げ、生徒の授業や学びの環境向上のため更新工事を実施。 | | |
| ④ 創価中学校 普通校舎給排水管更新工事 | 総額 | 18,634,000円 |
| ・ 1983年設置より40年が経過しており、近年は配管に排水異常が頻発しているため、更新工事を実施。また衛生面強化のため、手洗いも自動水洗に更新。 | | |
| ⑤ 関西創価中学高校 芸術棟・創武館等外壁他改修工事 | 総額 | 107,690,000円 |
| ・ 保全改修工事の5期目として外壁改修、屋上防水、大体育館ガラスフィルム剥がし工事を実施。 | | |

- ⑥ 関西創価中学高校 食堂厨房機械室給湯設備他更新改修工事 総額 14,300,000円
- ・ 保全改修工事の5期目としてシロッコファンの更新工事、ガス給湯器の設置等を実施。
- ⑦ 関西創価中学高校 プール塩素注入設備取替工事 総額 12,980,000円
- ・ プール塩素注入機器が故障したため、取替工事を実施。
- ⑧ 関西創価中学高校 中学棟・高校棟普通教室プロジェクター取替工事 総額 12,671,230円
- ・ 現在設置しているプロジェクターがメーカーによる修理部品の生産が終了し、修理対応ができなくなるため、機器の取替を実施。
- ⑨ 関西創価中学高校 ワールドホールウッドデッキ改修工事 総額 11,990,000円
- ・ 2007年設置より15年経過し、日々の生徒の移動により劣化が激しいため、改修工事を実施。
- ⑩ 関西創価中学高校 講堂つり物補修工事 総額 9,350,000円
- ・ 1986年設置より36年経過し、経年劣化しているため取替工事を実施。
- ⑪ 関西創価高校 女子下宿（れんげ寮）改修工事 総額 14,300,000円
- ・ 2011年3月までに下宿として使われていた物件を新たに下宿として利用することに伴い、居室、トイレの洋式への変更や外壁・屋根の塗装補修等の改修工事を実施。
- ⑫ 関西創価中学校 職員室改修工事 総額 20,909,746円
- ・ 現在の中高職員室は、教員数の増加に伴い、来年度には机の数が配置できなくなる。中学棟3階にあるJステーション（教員控室）等を全面的に改修し、中学職員室とする。
- ⑬ 関西創価小学校 食堂棟・図書館棟外壁他改修工事 総額 29,727,500円
- ・ 保全改修工事の5期目として外壁改修、屋上防水、校舎棟縦樋および集水桝の改修工事を実施。
- ⑭ 関西創価小学校 食堂棟他空調設備更新工事 総額 13,750,000円
- ・ 保全改修工事の5期目として食堂棟1階空調更新、第1・第2理科室の空調更新工事等を実施。
- ⑮ 関西創価小学校 校舎棟内装及び屋外施設外壁他改修工事 総額 13,200,000円
- ・ 保全改修工事の5期目として校舎棟内装、高山烏舎のフェンス等更新、屋外倉庫、屋外便所の外壁及び屋上防水更新工事を実施。
- ⑯ 関西創価小学校 校内LAN設備他更新工事 総額 7,608,700円
- ・ 校内のインターネット通信に遅延や障害がたびたび発生しているため、校舎棟3階のLAN配線と無線アクセスポイントの増設、ネットワーク機器の更新工事等を実施。
- ⑰ 関西創価小学校 池田記念館改修工事(アフタースクール対応) 総額 5,929,000円
- ・ 2023年度よりアフタースクールが開始する。記念館3階の和室をタイルカーペット敷きに、2階女子トイレを和式から洋式への変更など改修工事を実施。
- ⑱ 関西創価小学校 校舎棟受変電設備他更新工事 総額 5,610,000円
- ・ 保全改修工事の5期目として校舎棟受変電設備の更新、引込柱PAS、高圧線の更新工事等を実施。

2. 教育事業・一貫教育連携の充実について

① 創立精神深化を育む各種施策の推進

- ・ 「創立者とともに」（創立者指導学習資料2022年版）を制作し、学園生の創立精神深化に努めた。
- ・ 「創立者とともに」（創立精神・年表編）を改訂し、創立者と学園生の絆についての学習資料の充実を図った。
- ・ 学園三大行事（英知・栄光・情熱の日記念行事）への取り組みについて、対面とオンラインの両方を活用し、工夫して実施。



② 小中高の12年間一貫教育を生かした教育の充実

- ・ キャリア教育や個別の進路指導により、創価大学、創価女子短期大学をはじめ、国公立大学、海外の大学に優秀な人材を輩出
- ・ 小学校から中学校、中学校から高校への進学をスムーズに接続させるブリッジプログラムの充実を図った。

③ 創価大学・SUA（アメリカ創価大学）・海外創価学園との連携のもと、創価教育を推進

- ・ 創価大学、創価女子短期大学との連携プログラムの充実を図り、推進することができた。
- ・ 「Project SCOPE」の活動として、ブラジル創価学園とのオンライン交流会を実施。
- ・ 創価大学の単位が高校で履修できる「データサイエンス入門」の講座を東西高で開講。
- ・ 東西の高校が、創価大学・SUA・ブラジル創価学園との「創価教育機関交流会」にオンラインで参加。

④ 生命尊厳の理念のもと自然環境教育・平和教育を推進

- ・ 東西高がフィールドワーク（オンラインも活用）を通して平和教育を推進。
- ・ 関西学園でNASA・宇宙教育プログラムへの参加による自然環境教育の推進。
- ・ 自然保護育成の各種保存会・委員会の活動に継続して取り組む。

⑤ 幼稚園から小中高全校で、読書教育の一層の推進

⑥ 教職員・管理栄養士等が協力して食育の取り組みを推進

⑦ 友情を育む、クラブの取り組みを推進

- ・ 東京中高・創価雄弁会、関西中高・ディベート部、東西高・箏曲部、東京高・関西中高・ダンス部、東京中・吹奏楽部、関西中高・吹奏楽部、関西小・アンジェリック・ブラスバンド、東京高・書道部、関西高・囲碁部等が全国大会に出場。



⑧ 世界市民育成の取り組み

- ・ フィールドワーク（オンラインシステムも活用）を通して国内外にて研修を実施。
- ・ 東京高はG C I S（世界市民探究）を通して、S G D sにつながる地球規模課題の解決に向けた探究活動に取り組んだ。
- ・ 関西高は全員で取り組むG R I T（探究型総合学習プログラム）のカリキュラムの充実を図った。



⑨ 防災・安全・安心の教育環境を充実

- ・ 通学時の安全のための、「安全教育」「マナー講座」を実施。
- ・ 防災訓練を定期的に行い、避難経路の確認や安全点検を充実。
- ・ スマートフォンやSNS利用の際のマナーについて学習し、意識を高めた。
- ・ 緊急対応等のセーフティネットを強化。

⑩ 札幌創価幼稚園 きめ細やかな園児対応

- ・ 新園舎が完成し、「遊び中心の保育」を推進。「心の根っこを育む」との教育目標から、「自己肯定感を育む保育」を目指し、一人ひとりを大切にする幼児教育に注力した。



3. 国際交流について

① 海外からの表彰

- ・ 卒業式において、卒業生代表に、インド・マカオ・中国より表彰を頂戴した。

② 国際交流

- ・ 東西の高校生が、中国の南開中学とオンライン交流会を開催。
- ・ カナダのラルバル大学「世界市民・対話・平和のための池田教育研究所」一行を、東京キャンパスに迎えた。
- ・ カナダのゲルフ・ハンバー大学一行を関西中高に迎えた。

4. 生徒・児童・園児支援について

① 奨学金の充実

- ・ 池田育英奨学制度・牧口奨学制度をはじめ、各種奨学制度を実施し、安心して学べる環境づくりに取り組んだ。

② 寮生・下宿生への支援充実

- ・ 地方から来ている寮生・下宿生の保護者の経済的負担を軽減するため、寮生・下宿生全員の昼食支援制度を継続。

<支給実績>

池田育英奨学制度	27,600,000円
鳳雛入学時奨学制度	6,900,000円
寮生・下宿生奨学制度	89,157,806円
牧口記念教育基金会奨学制度	77,450,000円
希望奨学金	5,913,285円
きょうだい同時在籍者奨学制度	15,600,000円
合計	222,621,091円

<原資内訳>

第3号基本金引当特定資産 利息	74,853,765円
就学支援基金引当特定資産 利息	78,545,518円
卒業生 寄付	29,221,808円
牧口記念教育基金会 寄付	40,000,000円
合計	222,621,091円

<奨学制度実績>

- ・ 池田育英奨学制度
 - 対 象：創立精神を堅持し、人物成績優秀もしくは諸活動での貢献顕著な者
 - 人 数：高校生 東西合計69名
 - 支給額：40万円支給
 - 資 金：第3号基本金引当特定資産利息
 - 支給実績：27,600,000円

- ・ 鳳雛入学時奨学制度
 - 対 象：人物成績優秀者
 - 人 数：高校生 東西合計20名
 - 支給額：東京高 36万円／関西高 33万円
 - 資 金：卒業生寄付・就学支援基金引当特定資産利息
 - 支給実績：6,900,000円

- ・ 牧口記念教育基金会奨学制度
 - 対 象：奨学金を望む者（小学生：年収400万円以下めやす）
（中学生：年収590万円以下めやす）
 - 人 数：小学生・中学生・高校生 東西合計458名
【東京】149名（32.5%）※全体比
【関西】309名（67.5%）※全体比
 - 支給額：小学生 10万円／中学生 20万円／高校生 15万円
 - 資 金：牧口記念教育基金会寄付・就学支援基金引当特定資産利息
 - 支給実績：77,450,000円

- ・ 寮生・下宿生奨学制度
 - 対 象：寮生・下宿生（中学・高校生）
 - 人 数：イ）寮生・下宿生全員
ロ）寮生・下宿生で収入基準を満たせば全員採用
（人数は2023年3月現在）
【東京】76名（高校：73名 中学：3名）
【関西】121名（高校：110名 中学：11名）
 - 支給額：イ）中学給食代金・高校昼食代・食券を支給
ロ）寄宿舎費全額免除
※奨学金の支給を希望する者（年収590万円以下めやす）
 - 資 金：卒業生寄付・第3号基本金引当特定資産利息
就学支援基金引当特定資産利息
 - 支給実績：89,157,806円

- ・ きょうだい同時在籍者奨学制度
 対 象：受験合格者のうち創価学園（幼稚園除く）に入学する者の兄弟姉妹が、
 入学年度に創価学園（幼稚園除く）に在籍している場合で、奨学金を
 望む者
 人 数：小学生・中学生・高校生 東西合計156名
 【東京】64名 【関西】92名
 支給額：10万円支給
 資 金：第3号基本金引当特定資産利息
 支給実績：15,600,000円
- ・ 希望奨学制度
 対 象：家計中心者の死亡・リストラ・廃業・疾病により失職（自己都合を除く）
 した場合
 人 数：東西合計29名
 【東京】6名 【関西】23名
 支給額：①学費全額免除（死亡の場合は学園が設置する高校まで。他は最長12ヵ月）
 ②通学生 食事代、交通費（寄宿舎費相当額上限）
 （期間は学費免除の期間に準じる）
 ③寮・下宿生 寮費、下宿代支給
 （期間は学費免除の期間に準じる）
 資 金：第3号基本金引当特定資産利息
 支給実績：5,913,285円

5. 生徒・児童・園児募集について

① オープンキャンパス・学校説明会・入試説明会の開催

- ・ 東西学園で完全予約制のオープンキャンパス開催をはじめ、オンラインによる学校説明会等を実施し、小中学生・未就学児への激励と保護者への説明を実施。

6. 広報・地域貢献活動について

① 学園メイト加入を推進

- ・ 全国の小中学生及び受験希望支援者を対象に、「学園メイト」制度（登録無料）を2009年度より開始。登録者数は2,000名を超え、広報活動の大切な基盤となっている。
 学園レター（年3回）、学園グッズを学園メイト登録者全員に贈呈。

② 駅広告看板の設置

- ・ 東西、札幌の学園最寄り駅をはじめとする、近隣主要駅広告を通し、広報活動を推進。

③ 創価芸術展の開催

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大から3年振りに、本展・巡回展の現地開催を再会した。生徒・児童・園児が日頃の授業、クラブ活動で作成した絵画、書道、写真、陶芸等を展示。作品を通じて、地域・社会に本学園が取り組んでいる人間教育への深い理解と関心を広げている。
- ・ 2022年度は、創価大学での本展と関西展（大阪）、中国展（島根）、北海道展を開催。

会場	鑑賞者数
本展	4,090名
関西展	2,486名
中国展	939名
北海道展	1,395名

合計	8,910名
----	--------

- ・ 本展・巡回展とともにオンライン展も開催
 総鑑賞者総数：34,614名（参考）2021年度：18,091名 2020年度：23,286名
 主な海外閲覧地域：中国、アメリカ、シンガポール、韓国など



7. 創価教育センターの活動について

① 学事面における創価一貫教育を推進

- ・ 学事推進会議を開催し、各校・園の学事推進を図った。
- ・ 教育内容の更なる正則化と向上を図るため学事便覧を改訂した。
- ・ 創価大学との定例会議を開催し、連携プログラムや各種情報の共有や調整を行い、諸行事がスムーズに実施できるようにした。
- ・ DS（データサイエンス）教育推進のため東西高と大学との連携会議を開催。

② グローバルリーダー輩出の取り組みを推進

- ・ 東西高を繋ぎセンターが連携基点となつての世界市民育成連絡会を実施。
- ・ 「Project SCOPE」の活動として、ブラジル創価学園との交流を推進。

③ 教職員の育成と研修を推進

- ・ 校長会・事務長会で教育情報を提供した。
- ・ 副校長教頭会を開催し、研修として充実させた。
- ・ 若手教職員の研修を充実させた。（内定者、新任、勤続2年、勤続5年、勤続10年）
- ・ ミドル研修を開催し、教員の資質向上を図った。
- ・ 全教職員対象に、テレビ会議を活用して、研修会を開催。

④ 創価教育研究所・自然環境教育研究所の活動

- ・ 両研究所ともに、研究員（代表教員）による会議と研修会を開催し、諸研究活動の充実を図った。
- ・ 毎年、全教職員による教育現場での取り組みをまとめ、未来に残す「創価教育の実践」記録集を作成。
- ・ 創価教育研究所では、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」について、各校や教科での取り組みの研究、検証を推進した。
- ・ 創価教育研究所の記録をポータルサイトにアップして学園内に公表。
- ・ 自然環境教育研究所では、創立者の提言から自然環境教育についての学びを深め、教育実践の充実を図った。
- ・ 「自然環境教育研究所報告」を3回発行。

⑤ 多様性を認める教育の推進

- ・ ユニバーサルデザイン教育を推進した。
- ・ 創価学園として、保護者相談室を設置（フリーダイヤルで対応）。

⑥ 学園50年間の各種資料の収集と整理を推進

- ・ 50年間の学事資料を取りまとめた「学事資料集」を発刊。
- ・ 創立者指導の整理を推進した。

8. アーカイブ充実

① 創立者関連資料の保全

- ・ 学園内にある、創立者の著書、著作、映像、音声等を厳重に管理（収集及び保全、修復）し、デジタル化することにより半永久的な継承体制を整備している。

② 関連資料の活用

- ・ アーカイブ資料を活用し、学園生に還元できるシステム（検索・閲覧）構築を目指し、検討を進めている。
- ・ アーカイブ資料の修復保全及び保管処理を着実に推進した。